平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年２月10日

上 場 会 社 名　　トナミホールディングス株式会社　　上場取引所　　東 大
コ ー ド 番 号　　9070　　URL　http://www.tonamiholdings.co.jp
代　　表　　者　(役職名)取締役社長　　(氏名)綿貫 勝介
問合せ先責任者　(役職名)取締役財務部長　　(氏名)輪達 光春　　(TEL)0766(32)1073
四半期報告書提出予定日　　平成24年２月13日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	89,766	△0.3	1,323	32.0	1,478	17.0	792	137.3
23年３月期第３四半期	90,072	4.9	1,002	32.8	1,263	△6.3	333	32.7

（注）　包括利益　　24年３月期第３四半期　　1,330百万円(―%)　　23年３月期第３四半期　　80百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第３四半期	8 73	―
23年３月期第３四半期	3 68	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	116,081	45,907	39.2
23年３月期	117,411	44,945	38.0

（参考）　自己資本　　24年３月期第３四半期 45,546百万円　　23年３月期 44,579百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	―	2 00	―	2 00	4 00
24年３月期	―	2 00	―		
24年３月期(予想)				2 00	4 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,200	1.0	1,250	4.3	1,550	1.5	550	75.2	6 06

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　　―社（　　）、除外　　―社（　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
② ①以外の会計方針の変更　　：　無
③ 会計上の見積りの変更　　：　無
④ 修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	97,610,118株	23年３月期	97,610,118株
② 期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	6,843,489株	23年３月期	6,837,767株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	90,769,965株	23年３月期３Ｑ	90,783,079株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 ……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
（６）その他注記情報 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年12月31日）におけるわが国の経済は、企業の生産活動に緩やかな持直しの動きが見られたものの、海外経済の減速や円高に加え、タイの洪水による影響もあって景気の停滞感が一層強まり、企業収益や個人消費が低迷する状況が継続しております。

物流業界におきましては、東日本大震災等の影響は回復傾向にあるものの、輸出貨物の輸送需要が減少傾向となり、また、国内貨物の輸送需要についても依然として低迷状況が続いており、同業者間の競争激化や燃料費の高騰などにより、引続き厳しい状況で推移いたしました。

このような中で、当社グループの当第３四半期連結累計期間の経営成績は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業、３ＰＬ（サードパーティ・ロジスティクス）事業をはじめとする業容の拡大につとめる一方で、収益性の見直しなどを推進いたしました結果、営業収益は89,766百万円と前年同四半期に比べ305百万円(0.3%)の減収となりました。

また、利益面におきましては、運賃・料金の見直しや燃料費の上昇などのマイナス要因もありましたが、業務運営の効率化などコストダウンの結果、営業利益は1,323百万円と前年同四半期に比べ321百万円(32.0%)の増益となりました。

経常利益は1,478百万円を計上し、前年同四半期に比べ215百万円(17.0%)の増益となりました。

四半期純利益は792百万円となり、前年同四半期との比較では458百万円(137.3%)の増益となりました。

セグメントの業績を説明いたしますと、次のとおりです。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①物流関連事業

第３四半期における物流関連事業は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業や３ＰＬ（サードパーティ・ロジスティクス）事業における既存顧客の受諾業務の拡大および新規顧客の開拓等につとめましたが、不採算取引の見直しや輸出関連の物流需要の低迷もあり、営業収益は81,628百万円と前年同四半期に比べ808百万円(1.0%)の減収となりました。

セグメント利益は、燃料費の負担増もありましたが、業務効率の向上や諸経費の圧縮の結果、774百万円と前年同四半期に比べ430百万円(124.8%)の増益となりました。

②情報処理事業

情報処理事業の営業収益は1,899百万円で、前年同四半期に比べ31百万円(1.7%)の増収となりました。

セグメント利益は料金見直し要因などもあって43百万円にとどまり、前年同四半期に比べ209百万円(82.8%)の減益となりました。

③販売事業

物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は5,520百万円と前年同四半期に比べ351百万円(6.8%)の増収となりました。

セグメント利益は358百万円と前年同四半期に比べ68百万円(23.7%)の増益となりました。

その他では、自動車修理業、ダイレクトメール業等で717百万円の営業収益を計上し、前年同四半期に比べ119百万円(20.0%)の増収となりました。

セグメント利益は84百万円で前年同四半期に比べ26百万円(44.7%)の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は116,081百万円となり、前連結会計年度に比べ1,330百万円(1.1%)減少しました。これは主として流動資産で現金及び預金が2,871百万円減少した一方で、固定資産で建物及び構築物が885百万円、土地が358百万円増加したことなどによります。

負債は70,174百万円となり、前連結会計年度に比べ2,292百万円(3.2%)減少しました。これは主として流動負債で賞与引当金が579百万円、固定負債で長期借入金が851百万円、土地再評価に係る繰延税金負債が713百万円減少したことなどによります。

純資産は45,907百万円となり、前連結会計年度に比べ961百万円(2.1%)増加しました。これは主として四半期純利益が792百万円となったことなどにより利益剰余金が481百万円増加したこと、土地再評価差額金が626百万円増加したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の38.0%から39.2%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、ヨーロッパの金融危機や円高・原油価格高騰の懸念など、依然として先行き不透明であります。

物流業界におきましても、燃料価格高騰への懸念や国内景気の低迷などから平成23年度の国内貨物輸送量は、12年連続の減少予想となっています。

また、生産拠点の海外シフトによる物流の国際化進展など、環境変化への対応強化の高まりから業務提携やM＆Aなどによる事業再編も一層加速しております。

当社グループは平成23年３月期で終了した「中期経営３ヶ年計画」のビジョンとして掲げた「高収益体制の構築」の実現にむけた取組を継続するとともに、次期３ヶ年計画にむけ経営基盤の一層の強化をはかる「単年度計画」の後半の取り組みに邁進いたしております。

物流アウトソーシングが進む中、物流ＩＴソリューションの導入ニーズも高まっており、物流ＩＴシステムや物流サービスを融合した３ＰＬ（サードパーティ・ロジスティクス）サービスを拡大することにより、環境変化への柔軟な対応を強化しております。

また、クラウド型物流システムの採用で、お客様と共に物流品質・コストを継続的に改善し、最適な物流サービスを提案、新規受託に向け積極的な営業展開、既存の流通センター運営の更なる業務効率化を推進してまいります。

グループ企業の事業部門間の補完機能の一層の強化、M＆Aや他社とのアライアンスの進展などを視野に入れた、物流事業の安定的な収益向上、および海外現地法人（大連・タイ）の事業展開による国内外一貫物流体制の強化により、一層の業績拡大をはかり、企業価値向上につとめてまいります。

当社グループは、グループ企業の共同営業を積極的に展開するとともに、「経営管理システムの構築」により収益構造改革に取り組み、一層の収益性向上をはかってまいります。

平成24年３月期の業績予想につきまして、現時点では平成23年11月10日に発表いたしました予想数値の変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,282	8,411
受取手形	3,501	3,856
営業未収入金	16,935	16,666
たな卸資産	674	705
繰延税金資産	597	319
その他	2,763	2,974
貸倒引当金	△33	△41
流動資産合計	35,723	32,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,804	20,689
機械装置及び運搬具（純額）	2,067	2,183
土地	40,919	41,277
その他（純額）	7,246	7,492
有形固定資産合計	70,037	71,642
無形固定資産		
のれん	197	120
その他	796	782
無形固定資産合計	994	903
投資その他の資産		
投資有価証券	5,340	5,167
破産更生債権等	131	154
繰延税金資産	861	961
その他	4,697	4,753
貸倒引当金	△373	△393
投資その他の資産合計	10,656	10,643
固定資産合計	81,688	83,189
資産合計	117,411	116,081

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形	937	941
営業未払金	10,022	10,067
短期借入金	13,590	13,527
1年内返済予定の長期借入金	1,354	1,232
未払法人税等	526	322
未払消費税等	426	249
賞与引当金	818	239
その他	6,313	6,938
流動負債合計	33,988	33,519
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	8,660	7,809
再評価に係る繰延税金負債	5,455	4,741
退職給付引当金	14,654	14,318
役員退職慰労引当金	195	188
負ののれん	306	249
その他	6,205	6,346
固定負債合計	38,477	36,654
負債合計	72,466	70,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,682	11,682
利益剰余金	14,685	15,166
自己株式	△2,014	△2,015
株主資本合計	38,535	39,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	117
土地再評価差額金	5,787	6,413
その他の包括利益累計額合計	6,044	6,530
少数株主持分	365	360
純資産合計	44,945	45,907
負債純資産合計	117,411	116,081

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業収益	90,072	89,766
営業原価	84,259	83,677
営業総利益	5,813	6,089
販売費及び一般管理費	4,810	4,765
営業利益	1,002	1,323
営業外収益		
受取利息	133	128
受取配当金	89	106
受取家賃	190	126
負ののれん償却額	65	57
持分法による投資利益	42	37
その他	198	160
営業外収益合計	720	616
営業外費用		
支払利息	381	378
その他	77	82
営業外費用合計	458	460
経常利益	1,263	1,478
特別利益		
固定資産売却益	38	207
貸倒引当金戻入額	6	－
移転補償金	－	56
受取保険金	43	－
その他	26	9
特別利益合計	114	273
特別損失		
固定資産売却損	27	15
投資有価証券評価損	30	14
固定資産除却損	56	32
災害による損失	－	28
その他	122	14
特別損失合計	236	106
税金等調整前四半期純利益	1,141	1,646
法人税、住民税及び事業税	422	644
法人税等調整額	368	209
法人税等合計	791	854
少数株主損益調整前四半期純利益	350	792
少数株主利益又は少数株主損失（△）	16	△0
四半期純利益	333	792

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	350	792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	△138
土地再評価差額金	－	678
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△0
その他の包括利益合計	△269	538
四半期包括利益	80	1,330
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	65	1,330
少数株主に係る四半期包括利益	15	△0

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 注１	合計	調整額 注２	四半期連結損益計算書計上額 注３
	物流関連事業	情報処理事業	販売事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	82,436	1,868	5,168	89,474	598	90,072	―	90,072
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	149	3,965	4,122	606	4,729	△4,729	―
計	82,443	2,018	9,134	93,596	1,205	94,801	△4,729	90,072
セグメント利益	344	252	289	887	58	945	57	1,002

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額57百万円にはセグメント間消去546百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△489百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 注１	合計	調整額 注２	四半期連結損益計算書計上額 注３
	物流関連事業	情報処理事業	販売事業	計				
営業収益								
１　外部顧客に対する営業収益	81,628	1,899	5,520	89,048	717	89,766	―	89,766
２　セグメント間の内部営業収益又は振替高	19	172	4,079	4,272	511	4,783	△4,783	―
計	81,648	2,072	9,599	93,321	1,228	94,550	△4,783	89,766
セグメント利益	774	43	358	1,176	84	1,260	62	1,323

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額62百万円にはセグメント間消去547百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△484百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）その他注記情報

事業別営業収益明細表

（単位：百万円）

事　業　別	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）		増　減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
		%		%		%
物　流　関　連　事　業	**(82,436)**	**(91.5)**	**(81,628)**	**(91.0)**	**(△808)**	**(△1.0)**
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	61,316	68.1	62,026	69.1	710	1.2
倉庫事業	16,454	18.2	15,059	16.8	△1,394	△8.5
港湾運送事業	4,666	5.2	4,542	5.1	△123	△2.7
情　報　処　理　事　業	**(　1,868)**	**(　2.1)**	**(　1,899)**	**(　2.1)**	**(　31)**	**(1.7)**
販　売　事　業	**(　5,168)**	**(　5.7)**	**(　5,520)**	**(　6.1)**	**(　351)**	**(6.8)**
そ　の　他	**(　598)**	**(　0.7)**	**(　717)**	**(　0.8)**	**(　119)**	**(20.0)**
合　　計	**90,072**	**100.0**	**89,766**	**100.0**	**△305**	**△0.3**

(注)その他欄には、自動車修理業、ダイレクトメール業等の各収入を含めて表示しております。